

共用品推進機構だより 2015年09月25日(23)

目次

(98) 共用品推進機構関連記事

- ▽「視覚障害者の可能性を広げる点字図書館理事長 田中徹二」
- ▽「わたしは共用品 電動歯ブラシ／星川安之」
- ▽「異なるニーズの『高さ』に対応／星川安之」

(99) 各種催しとお知らせ

- ▽「国リハコレクション2015『さあでかけよう、おしゃれして!』開催のお知らせ」

(100) 製品関連記事

- ▽「買い物かごの固定可能／幸和製作所」

(101) 新刊紹介

- ▽『大きな文字、大きな写真、大きなあみ図で大人から始めるかぎ針あみ M&L サイズのベストと小もの』
- ▽『発達障害の子の「イライラ」コントロール術 親子でいっしょに「イライラ」をやっつけよう!』
- ▽『発達科学ハンドブック 8 脳の発達科学』

(98) 共用品推進機構関連記事

- ▼「視覚障害者の可能性を広げる点字図書館理事長 田中徹二」

東京・高田馬場にある社会福祉法人日本点字図書館は、視覚障害者や文字を読むのが困難な人が利用する国内最大の点字図書館。点字図書、録音図書の蔵書数は約3万7千タイトルに及ぶ。

その館長に就いた 91 年から現在までを「デジタル化の 25 年」と語る。録音図書は希望のページに瞬時に飛べるようになり、読書の質や情報収集の速度が格段に上がった。2010 年から同館が管理するインターネット上の「サピエ図書館」は、点字や録音のデータをダウンロードして利用できる。こうした新技術の導入や活用を積極的に推し進めた。

01 年から理事長。活動は外にも広がり、点字ブロックの規格作りや駅ホームの転落防止柵の普及にも尽力した。「とにかくタフ」と周囲の評。本人は「関心のあることに首を突っ込んできただけ。周りの人たちが支えてくれた」。

20 歳の時、網膜剥離がもとで失明。それからの歩みを中心に、自身の半生をたどった「不可能を可能に点字の世界を駆けぬける」(岩波新書)を 8 月に出した。専用ソフトを使い、キーボードの六つのキーでかなや漢字を入力して書き上げた。視覚障害者の可能性は少しずつ広がっている。

(朝日新聞 9 月 25 日 2 面より抜粋)

▼「わたしは共用品 電動歯ブラシ／星川安之」

障がいの有無、年齢の高低にかかわらず共に使いやすい共用品には 2 つのタイプがあります。一般のモノの不便さを解消したタイプと、もう一つは、最初は障がいのある人に作られた福祉用具が、障がいのない人にも広がっていったタイプです。

後者の一つに電動歯ブラシがあります。1990 年代にアメリカのオプティバ社が、肢体不自由の人に向けて開発したのが始まりです。その後、オランダのフィリップス社が特許ごと買い取り、今に至っています。

温水洗浄便座も、同じくアメリカで肢体不自由の人のために開発されました。それを日本の TOTO 社が日本で広く一般に普及する先陣を切り、今では、最初福祉用具だったと思っている人の方が少ないかもしれません。

どの国よりも先に超高齢社会に突入した日本でのモノ作り、電動歯ブラシ、温水洗浄便座のように、まずは障がいのある人のことを考えて開発するのも有効と思われます。

(シルバー産業新聞 9 月 10 日 15 面より抜粋)

▼「異なるニーズの『高さ』に対応／星川安之」

「高さ」が使う人の使い勝手に大きな影響を及ぼすモノは、世の中に数多く存在する…と、2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、さまざまなモノやコトの使い勝手を検討しガイドラインにまとめる委員会に参加

して改めて思いました。

世の中のモノを見渡してみると、異なる高さのニーズの回答が、既に存在していることが分かります。

エレベーター内の「行く階を押すボタン」は、通常の高さに加えて低い位置にも付けられているモノが増え、車いす使用者も操作できるようになっています。

電車やバスのつり革にも高いもの・低いものが設置されるようになりましたが、その二つの高さでも不便な人がいる場合、扉近くにある縦に長い手すりが使える人の範囲を更に広げています。

もう一つ、ピアノを弾く時の椅子や電動キッチンのように「その人ごとに高さを調整できる」解決方法もあります。快適に使えるモノの「高さ」には複数の正解があるようです。普段使っているモノの「高さ」が最適かどうか、皆様も一度確認されてみてはどうでしょうか。

(エルダリープレス—シニアライフ版— 2015年9月号25面より抜粋)

(99) 各種催しとお知らせ

▼「国リハコレクション 2015『さあでかけよう、おしゃれして!』開催のお知らせ」

着たい服がどこでも手に入り、おしゃれできる環境がより促進されることを目指し、様々な情報発信の手段として国リハコレクションを始めました。

「さあでかけよう、おしゃれして!」をテーマに、いろいろな場所に出かけたくなるような服をはじめ、斬新な車椅子やおしゃれな杖など、さまざまなジャンルの物を展示また体験する場としました。

日時：2015年10月10日(土) 9:00~16:00

場所：国立リハビリテーションセンター(埼玉県所沢市並木4-1)ロビー

参加費：無料、事前申し込み不要

詳細：<http://www.rehab.go.jp/ri/event/fashion/top.html>

問合せ先

国立障害者リハビリテーションセンター研究所：小野

TEL：04-2995-3100(代表)

FAX:04-2995-3132 (研究所)

E-mail : fashion@rehab.go.jp

(100) 製品関連記事

▼「買い物かごの固定可能／幸和製作所」

コンパクトだが買い物かごを乗せられるシルバーカー「カゴノア S SLC04」。座面が高いとゆったり座れないとの高齢女性の声に応え、両足が無理なく地面につき、安定して座れるよう座面を低くした。買い物カゴを固定して乗せられる機能や、座面を上げると 15 リットルの荷物が収納できるなど、買い物にも便利。

(日経MJ 9月21日12面より抜粋)

(101) 新刊紹介

▼『大きな文字、大きな写真、大きなあみ図で大人から始めるかぎ針あみ
M&L サイズのベストと小もの』

初めて針を持つ。やったことはあるけど忘れてしまった…。そんな人に向けて、かぎ針あみを基本から解説。帽子などの小さなものから、ベスト、マーガレットといったウエアまでを、大きな文字・写真・あみ図で紹介する。

著：河合真弓 (かわい・まゆみ)

発行：主婦の友社

本体価格：1100 円 (税別)

ISBN : 978-4-07-413044-3

▼『発達障害の子の「イライラ」コントロール術

親子でいっしょに「イライラ」をやっつけよう！』

イライラはどこからくるの？叱る前にできることは？親子で一緒に考えて実践できる、発達障害の子の 15 のイライラ対応策を公開します。自分を見つめ

直す親向け&子ども向けイライラチェックリスト付き。

監修：有光興記（ありみつ・こうき）

発行：講談社

本体価格：1300 円（税別）

ISBN：978-4-06-259697-8

▼『発達科学ハンドブック 8 脳の発達科学』

脳機能イメージングなどの手法の進歩は、発達研究をどう変えたのか？発達脳科学の基礎・方法論から、知覚・言語・記憶・臨床・発達障害など各分野の第一線の科学者による最先端の研究成果までをまとめる。

編：日本発達心理学会

発行：新曜社

本体価格：3800 円（税別）

ISBN：978-4-7885-1444-7

（編集後記）

本日、NHKの早朝の番組「視点・論点」に、共用品推進機構の評議員で日本点字図書館 理事長の田中徹二さんが出演されました。タイトルは「視覚障害者と読書」。また、本日の朝日新聞朝刊の「ひと」でも「視覚障害者の可能性を広げる点字図書館理事長」をテーマに紹介されました。共用品推進機構が行っている標準化事業においても、規格作成委員会の委員長にご就任いただいております。視覚障害者のために様々な分野で貢献されている田中さんが広く紹介されたことを、大変うれしく思っています。（金丸 淳子）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>